

北陸大学ライブラリーセンター報

Bulletin NO.22

⇒ をクリックすると本文がご覧になれます。

⇒ 情報リテラシーかまびすしい中で

大西 邦治
(学術資料部長・教育能力開発センター教授)

⇒ ライブラリーセンター薬学部分館リニューアル特集

⇒ エントランスホール <1階>

⇒ レコードミュージアム／自習室／ライブラリーカフェ <2階>

⇒ 閲覧コーナー／開架書庫／ブラウジングコーナー <3階>

⇒ 閲覧コーナー／開架書庫 <4階>

⇒ 利用者の声

⇒ コミュニティーハウス分館案内

⇒ 目次

HOKURIKU UNIVERSITY LIBRARY CENTER

北陸大学ライブラリーセンター報



情報リテラシーかまびすしい中で

学術資料部長・教育能力開発センター教授 大西 邦治



インターネットの普及と検索サイトの機能充実で、知りたい情報を容易に入手できる環境が整ってきた。それは、膨大なボリュームの百科事典を身近に置くようなものであるが、キーワードを入力すれば直ちに必要とする情報を入手できるという点で、冊子をはるかに上まわる利便性を備えるものである。学術雑誌の分野でもこの点の進歩は目覚しく、Medline、HighWire、といった様々な検索システムがインターネット上にあり、各研究者が調べたい事柄についてキーワードを入力すると、直ちに関連文献がリストされる。また、多くの出版元が電子化を推し進めていることもあって、ヒットした文献のほとんどをPDFファイルなどの形で容易に入手できる状況となっている。

学術資料委員会ではこのような現況を踏まえ、また、教職員の皆さんのご理解を得、これまで冊子体でのみの外国語雑誌購入を2007年よりほぼ全面的に電子版へ切り替えることにした。このことには2つの利点がある。その1つは、まず同額経費で全文を閲覧できる雑誌の数（タイトル数）を大幅に増加できることである。出版元が安価なパッケージ形式の購読形態を提供するからで、このことは購読経費の高騰で大学図書館などが購読タイトル数を減らさざるを得ない状況と、そのことが出版元にとってもマイナスであること、の折り合いの結果と解釈するとわかりやすい。2つめの利点は、二次検索システムと一次文献資料とのシームレスな連携が可能になることである。冊子体購読の場合、文献検索はMedlineなどの二次検索システムを利用して、目的とする文献リストあるいはアブストラクトを得、それが本学の購読外国語雑誌リストにあるものであれば、ライブラリーセンターに赴き、文献を閲覧コピーするということになる。一方、電子版購読の場合、二次検索システムで検索ヒットして得られた文献のうち、本学が購読を契約しているジャーナルに含まれるものには、本学のマークがつけられており、これをクリックすることで直ちに必要な文献にアクセスできることになる。そしてこの操作はライブラリーセンターに赴くことなく、

学内LANに接続されている任意のパソコンからできるのである。学術分野における情報提供は、全世界的に張り巡らされたインターネットと情報リテラシーの上に成り立っているということができる。

ところで、インターネット上には様々なWEBショップが店を開いている。多くの人がそれらを利用し、流通形態の大変革が引き起こされている。書籍の世界ではAmazonをその筆頭として挙げることができる。キーワードを入力し、このショップで書籍を購入するとその情報は直ちにサーバーにインプットされ、そしてその情報をもとに既購入者に対して関連分野の書籍紹介がメールで案内される仕組みで、書店に赴き、書架に並ぶ書籍をブラウジングしつつ購入書籍を決めるといったシステムの対極に位置する仕組みということができる。極めて便利なサービスではあるが、意識的に関連分野以外に眼を向けることをしなければ限定された分野に留まり、視野を狭くすることにもなりかねない。情報リテラシーに基礎を置く仕組みは学術分野だけでなく、われわれの生活のいたるところに浸透してきているのである。

情報リテラシーかまびすしい中であって、ライブラリーセンター薬学部分館は、木をふんだんに使ったリニューアルを果たした。

やわらかな雰囲気、読書と勉学にいそむことのできるすばらしい環境が作られている。ライブラリーセンターはブラウジングを主とするシステムを提供する場である。一人ひとりが自らのリテラシーを高める場ということができる。本館も分館も、書架に並ぶ様々な分野の書籍を自由に手にすることができ、表題に目をやり、序文を読み、ページをぱらぱらめくり、興味あるページはサッと目を通すことができ、さらに深く読みたいときには、その書籍を借りてじっくり読むことができる。偶然手にした書籍の思いもかけない内容が、それまでに培われた「ものの見方考え方」に劇的な変革をもたらすかもしれない。ライブラリーセンターは学生にとって勉学の場でもある。自分の未来を思い描き、惑いながらもその実現に精一杯努力する場である。その勉学の合間にライブラリーセンターを散策し、気になる背表紙の書籍を是非手にとって見てほしい。それを木の温もりあふれる机に運び、ページを繰り、文章を読み、そこに広がる世界を今のあなたの世界から見てほしい。情報リテラシーを身につけることはもちろん必要であるが、ライブラリーセンターはそれを離れた成長の場を提供する。ここで多くの時間を過ごし、あなたという人間をより大きく成長させて欲しい。



エントランスホール

ライブラリーセンター薬学部分館リニューアル特集

昨年10月30日に、ライブラリーセンター薬学部分館がリニューアル開館しました。館内は、1階から4階まで本に囲まれていて、いつでも、どこでも本を手にとることができます。皆さんが手に取った1冊の本が、あなたの人生の糧となることを願っています。

1階

◆エントランスホール

1階エントランスホールの扉を開けると、本（製本雑誌）が壁一面にダイナミックに配架されています。

2階

◆レコードミュージアム／自習室／ライブラリーカフェ

デジタル・高度情報化時代の現代は、時代懐古の時とも言われています。レコード盤にゆっくりと針を下ろしてから、針が溝をたどって、曲が流れるまでの緊張の瞬間…。CDやiPodでは味わうことのできない、まさに至福の時間です。

2階のレコードミュージアムには、約10,000枚のレコードを常設しています。ジャンルは、中世の宮廷音楽から、クラシック、ジャズ、歌謡曲、フォーク、ロックなど、豊富に揃っています。皆さんの好きな音楽が必ず見つかるはずです。レコードジャケットは、眺めるだけでも楽しめます。

ボディソニック（体感音響装置付きソファ）を2台設置してありますので、CDしか聴いたことのない皆さんも、昔からのレコードファンの皆さんも、五感を働かせて、懐かしいアナログの音を身体全体で体感してください。特に重低音がずしりと身体に響いて、臨場感が楽しめます。

また、隣の自習室では、ボディソニックから微かに聞こえる音色がリラックス感覚をもたらし、勉強環境には最適です。ぜひ、ご活用ください。自習室の書架には、卒業記念品としての大事な本も配架しています。色々なジャンルの本がありますので、ぜひ専門書以外の本も手にして、幅広い教養を身につけられることを願っています。

時にはライブラリーカフェの開放的な空間で、思いきり資料を広げて勉強してみるのも効果的かもしれません。



レコードミュージアム



ライブラリーカフェ

3階

◆ 閲覧コーナー／開架書庫／ブラウジングコーナー

3階には、専門図書・参考図書・薬剤師国家試験問題集・新書・文庫・雑誌・新聞を配架しています。また、閲覧コーナー・受付カウンター・パソコンコーナー及びコピー機も設けています。

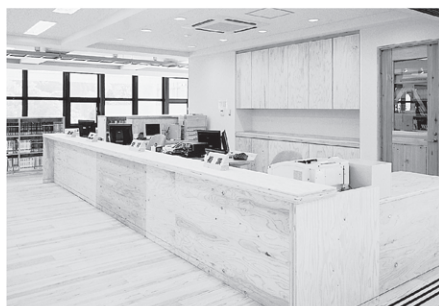
閲覧コーナーは風光明媚な景色を十分に堪能しながら勉強ができます。木の温もりの中、落ち着いて学習するには最適なスペースです。

受付カウンターでは、貸出及び返却手続き以外にも、何でもご相談ください。パソコンコーナーにはパソコンが20台あり、インターネットやアルベス等をいつでも利用できます。

なお、吹き抜けのソファに座ると心が穏やかになります。落ち着いたスペースの中で知的好奇心を満たし、真理を探究してください。



ブラウジングコーナー



受付カウンター



パソコンコーナー



開架書庫

寄贈

図書

本学の教職員から、右記のとおり
図書の寄贈がありました。
紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

書名

砂の女 ほか 93冊
聖書を読む、山川健次郎伝
薬と社会と法 ほか 3冊
能説会道日語口語（自然に話せる日本語）
「原因」と「結果」の法則 ほか12冊

寄贈者

上森良男（薬学部教授）
村上良夫（未来創造学部教授）
山本健次（教育能力開発センター教授）
横田隆志（国際交流センター講師）
田邊良和（ライブラリーセンター）

4階

◆閲覧コーナー／開架書庫

4階には、製本雑誌を配架しています。自習コーナーもたくさん設けています。一人用のキャレルデスクで、真剣に試験問題に取り組んだり、窓側のデスクで、四季折々にまた一日の時間帯でも移り変わる景色に時折目を休ませながら、読書や勉強に活用するのもいいでしょう。その時の気分ですどこを利用するかは自由です。多い日には、4階だけで100名近くの皆さんが勉強されていますが、お互いにマナーを守って利用してください。



閲覧コーナー



キャレルデスク



開架書庫

※ ライブラリーセンター薬学部分館の資料は、リニューアルした薬学キャンパス本部棟以外に、アネックスファームにも配架しています。

本部棟には、主に専門書を配架しています。アネックスファームには、専門書以外の一般書を配架しています。
(田邊)

ライブラリーセンター利用上の注意

- 1 図書・雑誌・新聞などは利用者みんなのものであり、読み終わった図書類は、必ず自分で元の場所や位置に戻してください。
- 2 静粛に、他人の迷惑を考え、お互いに思いやりを持ってください。
- 3 借りた本の返却日を守ってください。
- 4 喫煙・飲食をしないでください。
- 5 携帯電話を使用しないでください。
- 6 スタッフの指示に従って、利用してください。

利用者の声

- ◎ 薬学部の図書館がリニューアルし、平成18年11月から新しくオープンしました。全て木で造られ、今までの図書館とは違う雰囲気の、素敵な空間になりました。

3階の吹き抜けのラウンジでは、木で造られたイスに座って、今までよりもゆっくりと落ち着いた気持ちで、本や雑誌に目を通すことができるようになりました。また、自習室と仕切りをすることにより、勉強している学生は勉強に集中でき、本を借りに来た人も、気を使うことなく集中して探せます。更に、フロントも同じ階にあるので、分からないこともすぐ聞けるようになりました。効率のよい造りになったと思います。

忙しい時間の中、図書館に行くと、木の香りがするこの空間は、自然に心が落ち着き、冷静になります。勉強に励む学生たちの様子も、外から見ていて、以前はピリピリとした感じを受けましたが、今は穏やかに、熱心という印象に変わりました。

木…、それは目には見えないけれど、不思議な力で人々の心を落ち着かせ、清々しくしてくれる。また、雰囲気までも変えてしまう。そんな木を一面に使ったこの図書館は、自然に囲まれた北陸大学らしく、また、未来の薬剤師が育つ場所として適した素晴らしい図書館であると感じています。

(大学院薬学研究科 博士前期課程 1年次生 小林 由佳)

- ◎ 最近、勉強・研究の合間に、新しく出来たレコード室に行くことがあります。レコードミュージアムは、薬学本部棟の2階にあり、明るく温かい部屋です。図書館全体のスタイルと同じ、床板や棚などは全部木で造られて、私達に整然と立派な感じを与えます。

レコードミュージアムには、1960年代から80年代までのポップミュージックや民謡などのレコードがたくさん所蔵されています。

レコードミュージアムの窓越しに青空と青い山を一望することができます。秋には紅葉、冬には雪、季節によって景色の美しさも変わります。

快適なボディソニックに座って、好きなレコードを一枚気軽に流して、窓の外の綺麗な景色を見ているひとときは最高の時間です。

(大学院薬学研究科 博士前期課程 1年次生 王 軒)

- ◎ 薬学部の図書館のリニューアルによって、木の温もりが伝わる居心地のよい図書館に生まれ変わったと思います。以前に比べ、館内は広く、閲覧しやすくなったようにも感じられます。自習スペース、設置されているパソコン数の増加により一層、快適になりました。

図書館のマナーを守って、多くの方に活用してもらいたいです。

(薬学部 薬学科 4年次生 直江 路子)

◎ 私達は4年生のため、1日中図書館にすることが多いのですが、すべて「木」を基調とした造りで温かみややすらぎを感じ、長時間の勉強も苦にならず、リラックスして集中することができます。

また、個人机や広い机をはじめとし、参考書・パソコンなど勉強スペースが数多く確保しており、それぞれに合った勉強スタイルをつくることができます。

この環境の中で勉学に励み、国家試験を突破したいと思います。

(薬学部 薬学科 4年次生 金川 恭子)

(薬学部 衛生薬学科 4年次生 林 百合絵)

◎ 図書館が改装され、大学に気持ちよく過ごせる場所が増えました。新しい図書館は、四方から光が差し込むので、明るく開放感が感じられます。学習スペースには、圧迫感を感じない程度の仕切りがあるなど、所々に工夫がされていて、集中して作業するのに良い環境になっていると思います。

また、ソファが置かれた雑誌コーナーは、居心地が良いのでつい長居をしてしまい、慌てて授業に行くということもしばしばあります。私は読書や勉強にと、以前からよく図書館を利用していましたが、図書館では、用件を満たすことだけを目的としていたので、館内の造りに気を留めることはあまりなかったと思います。しかし、改装後の図書館を利用していくうちに、自然と今まで以上に図書館に通うことが多くなり、環境が人に与える影響の大きさを実感するようになりました。大学生活がより充実したものになりうれしいです。これからも、大切に利用していこうと思います。

(薬学部 衛生薬学科 3年次生 榮田 久美)



ライブラリーセンター学内向けホームページのお知らせ

HUNET（北陸大学イントラネット）の中に、ライブラリーセンターのホームページを開設しました。公開されているホームページとは別に、本学の学生や教職員の皆さん向けに、最新の情報をお届けします。利用案内のほか、新着資料のお知らせ、電子ジャーナルや各種データベースへのリンクなど、役に立つ情報を掲載しています。これから更に内容を充実していきますので、皆さんからの情報もお待ちしています。

(徳野)

コミュニティハウス分館案内

平成18年4月に、コミュニティハウス分館がオープンしました。日本で3番目に開学した孔子学院のために、中国政府や北京語言学院や南京大学から寄贈していただいた、専門図書や中国語の教科書、カセットテープ、ビデオ、DVDなどを約4300点、併せて、東アジア総合研究所の図書約700冊を配架しています。
(徳野)



編集後記

10月30日に薬学部本館リニューアル工事が竣工しました。潤いとゆとりある空間で書物に親しみ、情操と教養を培えるよう、1階から4階までの至る所に自然木の書架を配置し、図書に囲まれた空間を創出しています。

皆さんが手にした1冊の図書から将来に対する夢を学び、生命の尊さを重んじることができる薬剤師とされますことを、心からご期待申し上げます。
(田邊)

CONTENTS

	頁
○情報リテラシーかまびすしい中で	1
○ライブラリーセンター薬学部分館各階案内	2
○寄贈図書	4
○利用者の声.....	6
○学内向けホームページのお知らせ	7
○コミュニティハウス分館案内	8

**北陸大学ライブラリーセンター報
NO.22**

平成19年3月20日発行

編集・発行：北陸大学ライブラリーセンター
〒920-1180 金沢市太陽が丘1-1
TEL. 076-229-3021
FAX 076-229-4850

ライブラリーセンターEメール：tlib@hokuriku-u.ac.jp
北陸大学ホームページ：http://www.hokuriku-u.ac.jp/

印刷：カンダ印刷株式会社